

# 江別版「生涯活躍のまち」構想(案)に対する市民意見募集の結果と市の考え方について

## 平成29年1月 江別市企画政策部政策推進課

### ■意見の募集結果

募集期間	平成28年12月9日～平成29年1月17日
提出者数	3人
提出件数	11件

### ■意見に対する考え方の区分

区分	意見の反映状況
A	意見を受けて案に反映するもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案に反映していないが、今後の参考等とするもの
D	案に反映しないもの
E	その他の意見

### ※特記事項

パブリックコメントの内容については、提出者の意見をできるだけ正確に表すため、人物を特定できるような固有名詞やご意見以外の記述を除き、可能な限り原文のとおり掲載しております。



No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
1	<p>国の交付金の活用を期待するので取組みは賛成ですが、構想案の内容は不足に思う。</p> <p>構想概要を見ると過去の歩みを基に考えたもので将来を予測し見据えたものになっていない。</p> <p>江別市は大麻団地が出来たことを契機に人口が急増したもので、企業立地も少ない、ベッドタウンの性格が強い。団地発足時は、生涯学習が提唱されていたこともあり、新たな郷土を礎くべく住民あけで活動したが、確立出来ず、衰退し根付かなかった。今はそれぞれの同好者が活動している程度だ。このことは、全国のベッドタウンでも同じ傾向と分析されている。だから過去と同じ方法で生涯活躍のまちと云っても成果が得られないと思う。</p> <p>大麻団地再生が必要な根本は、50年後を見通した団地造成が出来なかったことにある。(理由分析略)</p> <p>本構想では2060年迄の人口予測が出ているが、他にも健康寿命も伸び住民意識や経済欲求も深まっているかもしれない。総じて生涯現役が呼ばれてはいないか。そうだとすると、後期高齢者に達する迄は、現役で活動する。それが持続可能なまちづくりをする。このことが政策順位の第1で医療・福祉より優先すると思う。</p>	<p>江別版「生涯活躍のまち」構想案では、多世代交流・社会参加の仕組みを検討する際に、入居者や拠点地域周辺住民、関係する団体等のニーズや考え方を把握し、ワークショップなどの手法を用いた関係者による検討の場を設けることとしています。「生涯活躍のまち」に関わる人々が医療・介護などの地域課題を認識し、連携することで解決に向けた方向性を議論することになると考えられます。ご意見の高齢者の現役での活動につきまして、市民アンケート結果では、学習活動への参加意向が高くなっていることから、アクティブシニアの活動の場づくりが必要と考えます。</p>	B
2	<p>江別市から転出するのは50才以上が多く、理由として色々な項目が掲げられているが、大雪が負担になるが最も多いはず。この点では、昔からの江別人ではよく認識していないように思う。豪雪地は将来も変わらないから、除雪を含め克雪の構想を作って、転出を減少させる政策がいると思う。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の市政の参考にさせていただきます。</p>	E
3	<p>高等養護学校の誘致</p> <p>札幌市において不足が著しいと聞いている。少子化の今になって、なぜ不足するのか。進学希望者の増大が要因で、これは卒業後就業して社会人として自立をすることが願われる。</p> <p>江別市の対象生徒数では単独で学校維持は出来ないから、札幌市等の生徒を迎え、希望に沿う支援をする考えを固める必要がある。</p> <p>江別市の得意分野の農業(そ菜園芸を含む)、窯業(レンガ、陶芸)、食品加工等の就業先の提供とそれに関連するインターシップ活動等が考えられる。旧盲学校は小中学部の義務教育でこの時の交流とは根本的に違う。</p> <p>更に、江別市外からの生徒は、通学か寄宿舍生活と思うので、安全と社会順応が必要と思われる。これらを円滑に行えることは、やがて家族が江別転住に迄つながらとの期待で取組みがいいのではないかと。</p>	<p>高等養護学校につきましては、地域との関わり方の必要性や実習先・就労先の確保等が必要であると考えています。アクティブシニアと高等養護学校の生徒との交流や、障がい者の就労の場の整備(地域交流拠点のレストランでの就労)等が考えられます。地域の魅力が高まって若年層・子育て世代の増加や江別市全体の活性化に寄与することが期待されます。</p>	B

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
4	<p>大麻の拠点施設 土地の確保がしやすいというだけで、将来の活発な利用も期待出来ないし活動計画からも必要性が少ない。検討を要すると思う。</p> <p>予定地は、団地のはずれの位置にある。周囲は道警宿舎、自動車学校、高等養護学校(予定)に囲まれ、4番通り側は崖下と農地等である。将来の変化も少ない。近くの団地住民は少なく、かつ高齢で期待出来ない。</p> <p>レストランやカフェも低利用ではないか。結果として、収益性が見込めないので活動の継続性にも心配がある。</p>	<p>この構想は、単に大麻の拠点施設の立地だけではなく、周辺にある商店街や大学などの江別市の資源との連携により、大麻地区全体へのひろがり(タウン型)を期待できるものと考えます。なお、土地の利活用の可能性については、北海道と協議の上、事業主体(民間活力)の検討を行います。</p>	C
5	<p>アクティブシニアをターゲットに誘致することの心配 国の施策との関連はあると思うが、東京の希望者は低所得者が多いとの調査結果があるので、江別市の医療や介護の充実を売りに移住を奨励することは適当でない。すぐに大雪への不満や要支援者になり負担になる。</p> <p>アクティブというように、第2第3の仕事を得て、後期高齢者になる迄は、現役で働くことが出来る積極的な者を求め、現役生活が順調に行く支援をする方向がいいと思う。</p>	<p>江別版「生涯活躍のまち」の基本的な考え方として、江別市民の江別市内での住み替え・転居を念頭にしており、江別市内で生涯にわたって安心して生活できるまちづくりを目指します。また、入居を検討する市民等のための「お試し入居」住宅等を検討し、暮らし方のニーズに対応した住まいを検討します。なお、国の示す「生涯活躍のまち」は、50歳代以降のアクティブシニアをターゲットとしていることから、中高年齢者による地域における社会参加の機会を検討します。</p>	B

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の 反映状況
6	<p>構想には、江別市念願の大政策課題を取り上げてほしい</p> <p>①高速道江別西インター周辺の開発整備 宝の山になる素地があるのに放置されている。 a道々江別インター線の道路整備が中断し残っている。地元側から働きかけて整備促進すべきである。 b江別西インター周辺は空地のままである。砂川インターパーキングと物販施設等を先例モデルにして、高速を降りずに一般道にも接続するパーキングエリアを設置する。ここに呼び水として道の駅のような江別特産市場を造り、旧盲学校跡地に計画の生涯活躍のまち拠点施設を併設して職員は兼務させ収益性を確保する。次いで、民間企業の進出を求めて発展充実させる。 c江別西インターからジョイフルAKと4番通りから江別インター線を囲む農地や遊休地を収益性のある観光農園のようなものに仕立て札幌市民をはじめ多くの家族連れが産直、物販の購入と憩いの場として楽しめる所にする。ここには、大麻の高齢者は健康のために喜んでボランティア参加するであろうし、高等養護学校生のインターシップにもつなげる。結果として住民の健康増進と生涯活躍につながる。これぞ生涯活躍のまちづくり意義に沿うものでないか。 dこの地域は、温泉が出る可能性があるので、検討に値する。実現すれば夢が更に広がる。 e一帯は市街化調整区域のはずだが、違法建築が目につく。放棄農地もあるように見える。構想が出来ることにより、違法な土地利用を抑え、農地所有者には自力で構想に沿った観光農園化の取組をしてもらえるのでないか。市のリスクや負担を軽くして推進するためにも秀れた構想策定で将来を見通すことにすれば江別の宝の山に発展すると思う。</p>	<p>「生涯活躍のまち」の実現に向けて、江別市では拠点地域の整備からスタートし、アクティブシニアによる活動を地域に段階的に広げることで、大麻地区全体へのひろがりを考えています。江別版「生涯活躍のまち」は、大学や商店街をはじめとする大麻地区全体の既存資源をうまく活用しながら、市民が生涯にわたって活躍できる仕組みを整え、活力ある地域づくりを行うことを目指します。現在開発・整備が進められている江別西インター周辺地域も含め、地域資源の活用が広がっていくよう、市と事業者が連携して取り組んでいく必要があります。</p>	C
7	<p>②子育て世帯の移住促進 親にとって、学校が楽しく学力が伸び成長が確められる子育てが一番の願いで、それが見込めるのであれば移住もするものだ。その親の願いがかなうのが大麻だと周知したい。大麻地区の小中学校の学力度は好調だ。学校側も力が入っている。幼稚園、保育所も整っている。高校、大学への進学も交通の便がいいから、札幌圏迄選択範囲が広い。更に、4大学や教育研究所、図書館もあり、自然環境も良好なので子育て環境は抜きん出ていいといえる。札幌市の公教育は低調を感じるので、これも追風になる。居住生活や通勤の生活環境もいいし、住いの紹介世話もする。小中学校が好調だと表現するのは義務教育の制度上配慮があるが、一番のポイントであるから何とか工夫して親にとって掛け替えのない子育てに最適の地域であることを周知したい。</p>	<p>本構想は、中高年齢者が健康でアクティブな生活を送ることによって、江別市民が生涯にわたって地域で活躍できるまちづくりをすることを目指していますが、子育て世代の転入促進にも取り組みながら、多世代が活躍するまちの実現を目指します。</p>	C

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
8	<p>③4大学との連携の工夫            学生の力を単に労働力と考え利用するのは避けたい。小学校放課後の児童の見守りの充実が目下の課題と思う。大学生も児童と係る活動は、自身の成長に益する。このマッチングを考えたい。今後留守家庭が更に多くなると思われるので、目下ある児童センターやジュニアクラブに増強して、父母と学生の連携による新たな見守り体制を作ってはどうか。(例)大麻小と札幌学院大、大麻東小と酪農学園大、大麻泉小と北海道情報大、大麻西小・文京台小と北翔大等との各校単位の組合せとして充実を競い合い、各大学の特色を出して見守りを確実にする。            見守り内容としては、学校開放の形式とし、各小学校の空教室等を使い、父母(窓口PTAでもいい)と学生(大学か学生の組織でもいい)が提携契約を結ぶ。学習補習、体力向上活動、情操育成活動、各大学の得意活動等、両方に責任者を置く。児童の出欠確認は確実にい見守りに万全を期する。            父母は月謝負担をして学生の費用支弁をする。学校開放に係る負担は無しとする。</p>	<p>本構想は、中高年齢者が健康でアクティブな生活を送ることによって、江別市民が生涯にわたって地域で活躍できるまちづくりをすることを目指していますが、学生と連携した子育て支援活動なども検討しながら、アクティブシニアや大学生、子育て世代を含めた多様な主体との交流による「共生のまち」の実現を目指します。</p>	C
9	<p>構想は江別市職員の情熱と持続する意欲が成功の基になる。全国には抜きん出た地域作りに成功した所が数多くある。そこには必ず情熱を注いだ先達者が存在することも知られている。本構想にも江別市職員の中にそのような者が潜んでいることを期待している。大麻団地が出来たことは、江別市発展の基になった画期的な構想であった。今、50年を経て大麻再生が必要とされ、これ迄に幾度も提言や指針が出されているが、推進の息吹が見られなかった。今度こそその思いで、パブリックコメントに参加した。私は50年前に札幌から移住した。他に道内5市町に勤務したが、今でも大麻の生活環境はいい方だと解しているが、更に良くなる素地があるのになあともどかしく思っている。関係職員の頑張りを願う。</p>	<p>構想の実現に向けて江別市は、北海道との協議や事業主体の選定などを行い、拠点地域周辺への取り組みでは、事業主体と連携しながら、地域資源の有効活用を図るなど、構想の実現に向けて取り組んでまいります。</p>	B

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
10	<p>若い世代を生み育てる江別市独自の対策を望む。静岡県出身の私は2、3年で帰るつもりが、転勤で江別へきて変わった。(静岡県30年苦小牧市13年江別市46年) 1江別の良い所 ①空気おいしい、②大自然の移ろいが大変美しい、③地震水害が少ない、④道路が平坦で自転車は特に快適だ。大麻の住人は助け合い、大変住み良い。⑤暖房住宅も快適。2今、日本中が高齢化で困っている 国の方策を待ってられない。江別市独自で出来ることは改善実行したい。先ず江別市保有の水資源、食糧確保可能の算出最低必要就農人数等々を大学で数値を出してもらおう。可能な人数を「生めよふやせよ」運動を起こすといっても昔は兵隊を作るためだったが、家庭教育の充実、学校教育、社会教育と各方面で教育を高める(世界のリーダーになれるよう)。トランプは先ず自国アメリカを豊かにするといっている。たしかに先ず自国をつくるべきだ。かつて江別の或る大学の先生が「今どき国づくりなんて…」といった。国民一人の安全は国がしっかりしていなければ困る分らないかのかと思った。また、「生む生まないは本人の意志です。他人に指図されるものではない」ともいった。その結果が今の現状だ。一人では生きれない。みんなが守ってくれるから。自分もできることで他人に費やさなければいけない。根幹は教育だ。それぞれの専門家をお願いする。3 それと他市町村から江別に住みたくなるPRも必要だ。テレビ等を利用すること。4 原始林を利用してマラソン大会を 千歳空港あたりから百年記念塔までを利用して箱根マラソンに匹敵するような大勢を集めるマラソン大会を開催したらどうか。大学生の奉仕大歓迎。文京台に宿舎、ホテルを建てる。5高齢者の足確保 札幌の一部のハイヤー会社では65才以上一定負担をしていて江別の住民も利用している。江別にもハイヤー会社があるので、市で一部負担してくれると有難い。また元気な人たちは聚楽学園や蒼樹大学等市街周辺地区から通う人にデイサービス車をあいた時間に使ってもらえれば有難い。折角元気でも同じ市民でも公民館等利用困難をいっても気の毒に思っている。</p> <p>以上市民一人一人の英知と技術を発揮して市民生活を楽しく向上させたい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の市政の参考にさせていただきます。</p>	E
11	<p>流雪溝の設置            森林公園大沢口を起点として、傾斜を活用し終末処理場まで設置する。各戸前には雪捨て用の投入口を設置(有料)。途中の公園には地下水槽(プール)を設置。防火用水、公園の散水に利用する他冬季はソーラーパネルによる水温アップで流雪溝の流れをスムーズにするため)            高齢と共に積雪処理が身体的にはきつくなり、処理費用も年々高くなっている。雪捨て用の投入口があれば、隣近所で助け合える。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の市政の参考にさせていただきます。</p>	E